NEC Express5800/R110a-1H

スタートアップガイド

856-127971-002-01 2009年3月 第2版

856-127971-002-01

本製品を取り扱う前に本書の説明をよくお読みください。
本書は大切に保管してください。

NEC Express5800シリーズ製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。また、本文中の名称についてはユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。
本書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本装置をご使用になる前に本書およびユーザーズガイドを必ずお読みください(ユーザーズガイドは添付のDVDにPDFファイルとして格納されています)。また、本文中の名称についてはユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

本製品の利用目的について

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。ご使用に際しましては、下記の点につきご注意いただけますよう、よろしくお願いいたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関わる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。
   弊社相談窓口：ファーストコンタクトセンター　　電話番号：03-3455-5800

安全にかかわる表示について

NEC Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。
本書には本装置のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています(本体に印刷されている場合もあります)。
本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
注意	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

記号	名称	説明	例
△	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意
⃠	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止
●	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：プラグを抜け

(本書での表示例)

注意を促す記号　危険に対する注意の内容　危険の程度を表す用語

注意

指定以外のコンセントに差し込まない
指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外の電圧を使うと火災や漏電の原因となります。

本書およびラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

感電のおそれがあることを示します。	指などがはさまれるおそれがあることを示します。
高温による傷害を負うおそれがあることを示します。	けがするおそれがあることを示します。
爆発または破裂のおそれがあることを示します。	特定しない一般的な注意・警告を示します。
発煙または発火のおそれがあることを示します。	

行為の禁止

本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。	ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。	特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。	

安全上のご注意

全般的な注意事項

警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない
本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

煙や異臭、異音がしたまま使用しない
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない
通気孔や光ディスクドライブなどのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

規格以外のラックで使用しない
本装置はEIA規格に適合した19型(インチ)ラックにも取り付けて使用できます。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本装置で使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。

指定以外の場所で使用しない
本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書または保守サービス会社にお問い合わせください。

注意

海外で使用しない
本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。本装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。

本装置内に水や異物を入れない
本装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

注意

1人で搬送・設置をしない
ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。

荷重が集中してしまうような設置はしない
ラック、および取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。

1人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する
ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付けてください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。

ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない
ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。

複数台の装置をラックから引き出した状態にしない
複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。

定格電源を超える配線をしない
やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

電源・電源コードに関する注意事項

警告

ぬれた手で電源プラグを持たない
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

アース線をガス管につながない
アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

注意

指定以外のコンセントに差し込まない
指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

安全上のご注意 - つづき -

注意

たこ足配線にしない
コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

中途半端に差し込まない
電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の電源コードを使わない
本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。
また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードに束ねたまま使わない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードをステープラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない
添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

ケーブル部分を持って引き抜かない
ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

注意

指定以外の場所に設置・保管しない
本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所
- 直射日光が当たる場所
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所
- 不安定な場所

腐食性ガスの存在する環境で使用しない
腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。ご不明の点は販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

落下注意
本装置をラックに取り付けるまたは取り外す際は、底面をしっかり持ってください。ラック取り付けブラケットには落下・脱落防止(ストッパ/ロック)機能がないため装置をラックからすべて引き出すと、装置がラックから外れて落下してけがをするおそれがあります。

カバーを外したまま取り付けない
本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。

ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない
ラックから引き出された状態にある装置の上から荷重をかけないでください。フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。また、装置が落下し、けがをするおそれがあります。

注意

指を挟まない
ラックへの取り付け/取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。

プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない
インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない
インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する本装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- 破損したケーブルを使用しない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告

自分で分解・修理・改造はしない
本装置の説明書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

リチウムバッテリやニッカドバッテリ、ニッケル水素バッテリを取り外さない
本装置内部にはリチウムバッテリが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリやニッケル水素バッテリを搭載したものもあります)。バッテリを取り外さないでください。リチウムバッテリやニッケル水素バッテリは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。
また、バッテリの寿命で本装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。

プラグを差し込んだまま取り扱わない
お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、本装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意

高温注意
本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ本装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。

中途半端に取り付けない
電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

注意

動作中に装置をラックから引き出さない
本装置が動作しているときにラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。

注意

雷が鳴ったら触らない
雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。

ペットを近づけない
本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本装置内部に入って火災や感電の原因となります。

装置の上にものを載せない
本体がラックから外れてけがや周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

巻き込み注意
本装置の動作中は背面にある冷却ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが表示されています。これは本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどしているときは販売店にご連絡ください。

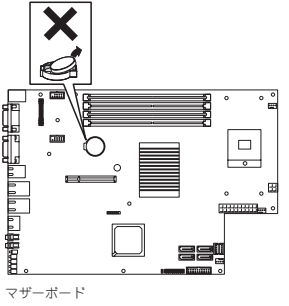
● 2.5インチディスクモデル

● 3.5インチディスクモデル

製品の譲渡と廃棄について

ハードディスクドライブ内の大切なデータを完全に消去していますか？OS上からは見えなくなっていてもハードディスクドライブ上に残っている場合があります。第三者へのデータ漏洩を防止するために、市販のツールや保守サービス(共に有償)を利用して、お客様の責任において消去してください。

- **第三者への譲渡について**
  本装置を第三者に譲渡(または売却)する場合には、装置に添付されている説明書一式を一緒にお渡しください。
- **消耗品・本装置の廃棄について**
  本体およびハードディスクドライブ、フロッピーディスク、CD-ROMやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。なお、本体添付の電源ケーブルにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。本体に搭載されているバッテリ(右図参照)の廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

マザーボード

箱を開けてから装置を使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」DVDの中に格納されています。ユーザーズガイドはAdobe® Reader™で閲覧できるPDFファイルで、以下の手順で表示・印刷することができます。

① Adobe Readerがインストールされているコンピュータの電源をONにする。

② 添付の「EXPRESSBUILDER」DVDをコンピュータの光ディスクドライブにセットする。
オートラン機能により自動的にメニューが起動します。
セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

③ 「オートランメニュー」の「ドキュメントを読む」をクリックする。

ヒント：DVD媒体読み込み機能3のないコンピュータで閲覧したい場合は、ユーザーズガイドの3章「DVD媒体読み込み機能のない管理PCを使用したいとき」を参照してください。

ユーザーズガイドでは、本製品を安全に取り扱うための注意事項やStartup Guideでは記載されていないセットアップに関する詳細な説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。また、「故障かな？」と思ったときのトラブル回避の手だてやサービスに関する情報も記載されています。本製品を取り扱う前にぜひお読みください。

ヒント：PDFファイルを閲覧するためには、Adobe Readerの日本語版が必要です。Adobe Readerはアドビ社のWebサイトから無償でダウンロードすることができます(http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2.html)。
またユーザーズガイドは、NECのWebサイトからダウンロードすることもできます(http://nec8.com/→[サポート情報]をクリックしてください)。

Step 1 添付品を確認する

- 本体
- ご使用時のご注意
- EXPRESSBUILDERパッケージ*1
- スタートアップガイド(本書)*2
- ハードディスクドライブ固定用インチネジx8*3、*4
- ケーブル固定タイx1
- 電源コードx1
- お客様登録申込書
- 保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)
- SystemGlobe DianaScope Additional Server Licence(1) (DianaScopeのライセンス)
- エアダクト固定用ネジx2

- **添付の「EXPRESSBUILDER」DVDは、セットアップ(または再セットアップ)の時に必要となりますので大切に保管しておいてください。**
- **上記添付品は、本体のみのものです。スタートアップパックやBTO(工場組み込み出荷)製品などは「組み込み製品・添付品リスト」をご確認ください。**

*1 EXPRESSBUILDERパッケージの内容についてはEXPRESSBUILDER内の添付品一覧を参照してください。
*2 ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」DVD内に格納されています。これを参照するには、Adobe Readerが必要となりますので、あらかじめご使用のコンピュータへインストールしておいてください。
*3 3.5インチディスクモデルの場合のみ添付となります。
*4 ご購入になった本体装置構成により、本体に実装されている場合があります。

Step 2 内蔵オプションを取り付ける

本体内蔵用のオプションを取り付けます(オプションを購入していない場合や「BTO(工場組み込み出荷)」で本製品を購入されたお客様はステップ3へ進んでください)。

「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。また、インストールするOSによっては、一部ハードウェアの制限があります(BTO(工場組み込み出荷)モデルを除く)。「ユーザーズガイド」の「導入編」を参照して注意事項を確認してください。

Step 3 ラックを設置し、本製品を取り付ける

本体はEIA規格に適合した13型オフィスラックに設置して使用します。ラックへの設置について、次の条件を守ってください。

参照：ラックの設置および本体のラックへの設置については「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。

Step 4 ケーブルを接続する

ケーブルを本体に接続します。

参照：「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。

Step 5 電源をONにする

前面のPOWERスイッチを押して電源をONにします。

重要：**Step 6に示す手順を行う必要のない場合は、電源をONにする前にStep 7をご覧ください。お買い求めになられたモデルによっては、電源のON後、すぐにシステムのセットアッププログラムが起動したり、添付の「EXPRESSBUILDER」DVDを使ってセットアッププログラムを起動しなければならない場合があります。**

POWERスイッチ

Step 6 BIOSの設定を変更する

ご使用になる環境に合わせてBIOS(Basic Input Output System)の設定を変更します。

参照：操作方法や設定の詳細については「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください(日付や時間が正しく設定されていることを確認してください)。

システムBIOSの設定変更
オプションのUPS(無停電電源装置)を接続している場合や、管理ソフトウェアとの機能の連携をする場合にシステムBIOSの設定を変更します(通常は出荷時の状態でも問題ありません)。設定を変更するためにBIOSセットアップユーティリティ「SETUP」を起動します。

① **電源をONにした後、「NEC」ロゴが画面に表示されたら、<Esc>キーを押す。**

② **次に示す起動メッセージが画面に表示されるまで待つ。**

Press <F2> to enter SETUP

③ **<F2>キーを押す。**
「SETUP」ユーティリティが起動します。

RAIDシステムのコンフィグレーションユーティリティの設定変更
RAIDシステムのコンフィグレーションユーティリティの起動メッセージが表示されますが、特に設定を変更する必要はありません。

RAIDシステムの設定を変更するとハードディスクドライブ内のデータを消失することがあります。「ユーザーズガイド」を参照して十分注意をしながら操作してください。

* モデルにより使用するコンフィグレーションユーティリティは異なります。詳しくはユーザーズガイドを参照してください。

オプションボードのBIOSの設定変更
オプションのSCSIコントローラなどを搭載している場合は、設定を変更するコンフィグレーションユーティリティの起動メッセージが表示されます。オプションボードに添付の説明書を参照して正しく設定してください。

Step 7 OSをセットアップする

オペレーティングシステムのセットアップをします。

<Windows>

OSがインストール済みのモデルで初めて電源をONにする場合
本体の電源をONにするとWindowsのセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って必要な設定をしてください。

OSがインストールされていないモデルの場合・再インストールの場合
インストールには、添付の「EXPRESSBUILDER」DVDを使います(フロッピーディスクを使用してインストールを進めるときは、別途1.44MBフォーマット済みの空きフロッピーディスクをご用意ください)。

重要：
- **装置に添付のEXPRESSBUILDERに対応していない大容量記憶装置コントローラに接続されたハードディスクドライブへインストールする場合は、「ユーザーズガイド」の「導入編」－「応用セットアップ」を参照してください。対応コントローラの確認は、コントローラに添付のセットアップ手順書またはユーザーズガイドを参照してください。**
- **Windows Server 2008 64bit(x64) Editionをインストールする場合は、「Windows Server 2008 Standardインストレーションサプリメントガイド」を参照して「マニュアルセットアップ」を行ってください。**
- **Windows Server 2003 x64 Editionsをインストールする場合は、「Windows Server 2003 R2, Standard x64 Editionインストレーションサプリメントガイド」を参照して「マニュアルセットアップ」を行ってください。**
- **本製品にはフロッピーディスクドライブが搭載されていません。別売のUSBフロッピーディスクドライブを必要に応じて用意してください。**

① **本体の電源をONにする。**

② **「EXPRESSBUILDER」DVDを本体の光ディスクドライブにセットする。**

③ **<Ctrl>キーと<Alt>キーを押しながら<Delete>キーを押して再起動させる。**
DVD-ROMからEXPRESSBUILDERが起動します。

④ **[シームレスセットアップを実行する]を選択し、[次へ]をクリックする。**

⑤ **パラメータファイルを使用する場合は、パラメータをロードする。**

[既存のパラメータファイルを使用しない場合]
「パラメータをロードしない」を選択して、[次へ]をクリックする。以降は、各画面の指示にしたがって必要なパラメータを入力してください。

[既存のパラメータファイルを使用する場合]
「パラメータをロードする」を選択し、パラメータファイルのパスをボックスへ入力する。この後、ウィザード上でファイルからロードされたパラメータファイルを確認する場合は[次へ]を、確認しないでそのままインストールの場合は[スキップする]をクリックする。

⑥ **「自動インストールの開始」画面で[実行する]をクリックする。**
以降はメッセージにしたがってください。

手順⑤で作成したフロッピーディスクは、EXPRESSBUILDERと一緒に保管しておいてください。再セットアップの際にこのフロッピーディスクを使用すれば、パラメータの入力を省略することができます。

<Linux®>

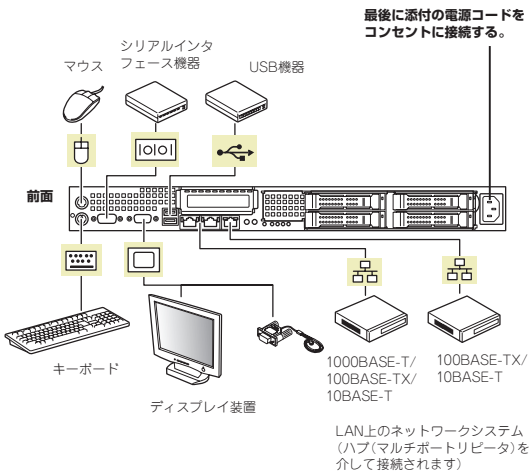
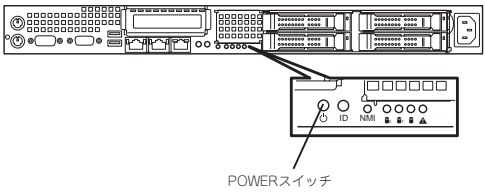
BTO(工場組み込み出荷)モデルの初期設定
本体の電源をONにするとインストール済みのOSが起動します。続けてLinuxサービスセットに添付される「初期設定および関連情報について」を参照し、Linuxの初期導入設定を行ってください。

OSが未インストールの場合・再インストールの場合(Linuxサービスセットを購入している場合)
添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオンラインドキュメント「ユーザーズガイド」の「Linuxのセットアップ」を参照し、「シームレスセットアップ」を行ってください。

OSが未インストールの場合・再インストールの場合(Linuxサービスセットを購入していない場合)
添付の「EXPRESSBUILDER」DVDに格納されているオンラインドキュメント「Red Hat® Enterprise Linux 5 Server インストレーションサプリメントガイド」または「Red Hat Enterprise Linux 4 インストレーションサプリメントガイド」を参照し、「マニュアルセットアップ」を行ってください。

- **セットアップ時にドライバディスクを作成する必要があります。別途ドライバディスク用に空きフロッピーディスクを1枚ご用意ください。**
- **本製品にはフロッピーディスクドライブが搭載されていません。別途USBフロッピーディスクドライブをご用意ください。**

障害処理のためのセットアップ

本装置内のメモリダンプ(デバッグ情報)を採取するための設定方法について説明します。詳細やその他の設定については、「ユーザーズガイド」の「導入編」－「障害処理のためのセットアップ」をご覧ください。

Step 8 EXPRESSBUILDERを使ったセットアップをする

「EXPRESSBUILDER」DVDには、セットアップツールのほかに、サーバ管理用のソフトウェアが格納されています。これらを活用することで、TCO(Total Cost of Ownership)の削減、システムダウンの防止、または故障からの早期復旧を図ることができます。ここでは、それらを含めた「EXPRESSBUILDER」DVDの内容について紹介しています。

参照：「ユーザーズガイド」の「ソフトウェア編」またはオンラインドキュメントを参照してインストールやセットアップをしてください。ここで記載されていないユーティリティについては、ユーザーズガイドまたはオンラインドキュメントで説明しています。

「エクスプレス通報サービス」は、お客様とNECをひとつに結び、安心・充実した運用と各種サポートを提供するユーティリティです。NECが提供するサポートサービス体系「iBestSolutionsシステムサポートサービス」の基礎となるものであり、「ESMPRO/ServerAgent」が検出したトラブルやその兆候が現れた際にインターネットや公衆回線を介して「監視センター」に通報します。これを受け、「監視センター」は、全国430カ所以上にあるNECフィールディングの保守サービス拠点のうち、もよりの拠点に指示を出し、サービスエンジニアがユーザー先へ出向いてトラブルの未然回避や復旧処置を行います。なお、ご利用に際しては、別途有償のハードウェア保守契約か、通報サービス契約が必要です。

システム管理ユーティリティ
エクスプレス通報サービス

セットアップユーティリティ
EXPRESSBUILDER

OSの再インストール(シームレスセットアップ)やシステムの診断、各種OEM-Diskの作成などExpress5800シリーズのシステムを構築するためのセットアップユーティリティ。

装置をリモート管理するためのユーティリティ。

システム管理ユーティリティ
DianaScope

本製品

LAN

管理PC

「シームレスセットアップ」で使用する「パラメータファイル」を作成するWindowsベースのユーティリティ。

セットアップユーティリティ
ExpressPicnic

システム管理ユーティリティ
ESMPRO/ServerAgent

－装置のさまざまな障害情報を収集し、状態の判定を行い異常を検出すると、ESMPRO/ServerManagerへアラート通報を行います。
－障害の予防対策として、事前に障害の発生を予測する予防保守機能をサポートしています。筐体内温度上昇やハードディスクドライブ劣化などを事前に検出できます。
－装置の詳細なハードウェア構成情報、性能情報を取得できます。取得した情報はESMPRO/ServerManagerを通してどこからでも参照できます。

システム管理ユーティリティ
ESMPRO/ServerManager

ネットワーク上に分散したサーバを効率よく管理できるGUIインタフェースを提供するユーティリティ。

セットアップ支援ツール
オートランメニュー

Windowsベースの各種ユーティリティのインストールからセットアップや保守の際に使用するOEM-Diskの作成などをナビゲートする統合支援ツール。ユーザーズマニュアルなどのドキュメントの閲覧もできます。

ESMPROはサーバシステムの安定稼動と、効率的なシステム運用を目的としたサーバ管理ソフトウェアです。本製品を導入することにより、装置の構成情報・性能情報・障害情報をリアルタイムに取得・管理・監視できるほか、アラート通報機能により障害の発生を即座に知ることができるようになります。

EXPRESSBUILDERについて

本装置の光ディスクドライブに「EXPRESSBUILDER」DVDをセットして起動すると、以下のメニューが起動します。

```
Boot selection

Os installation***default***..............①
Tool menu(Normal mode)....................②
Tool menu(Redirection mode)...............③
```

① Os installation
本項目を選択すると、EXPRESSBUILDERトップメニューが表示されます。

② Tool menu(Normal mode)
本項目を選択すると、表示言語の選択の後、ツールメニューが起動します。

③ Tool menu(Redirection mode)
本項目は、BIOSコンソールリダイレクション機能を使用して、コンソールレスにて操作する場合にのみ選択してください。

詳しくはユーザーズガイドの「ソフトウェア編」を参照してください。
また、Windows PCにセットすると「オートランメニュー」を表示します。このメニューから各種バンドルソフトウェアのインストールや、オンラインドキュメントを参照することができます。

Step 9 お客様登録をする

添付の「お客様登録申込書」またはインターネット(WWW)を利用して登録を行います。

添付の「お客様登録申込書」に必要事項を記入の上、「エクスプレス受付センター」までご返送ください。返送していただいたお客様は、「ClubExpress会員」に登録させていただきます。「ClubExpress会員」は、インターネットからも登録手続きが行えます。

http://club.express.nec.co.jp

お客様登録

また、Express5800シリーズをはじめとするさまざまな製品の情報は以下のインターネット情報サイトにあります。ご覧ください。

[NEC8番街] http://nec8.com

以上でExpress5800シリーズのセットアップは完了です。
ご利用の環境に合わせてその他使用するアプリケーションのインストールとセットアップをしてください。
Express5800シリーズを末永くご利用ください。

Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
(電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)
ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800(代表)
受付時間 ／ 9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

サービスパックの適用について

本装置にサービスパック(SP)を適用する場合、SPを単独で適用すると起動できなくなったり、動作が不安定になったりします。十分ご注意ください。適用方法はSPの添付状況により異なりますので、ユーザーズガイドの導入編またはインターネット情報サイト「http://nec8.com(8番街)」を参照してください。
また、Windows Server 2003 Service Pack 2を適用する場合は「システムのアップデート」で行ってください。装置に「NEC Express5800シリーズ Windows® Server 2003 RUR CD-ROM」が添付されている場合がありますが、使用せず破棄するか、装置に添付されているほかの媒体と異なった場所に保管してください。通常、ご使用になられても次のようなメッセージが表示され、セットアップが続行できませんが、メッセージが表示されず適用された場合は、再度「EXPRESSBUILDER」DVDから「システムのアップデート」を行ってください。このときサービスパックを再適用する必要はありません。

セットアップメッセージ
このWindows RURは、この装置には対応していません。
ご使用の装置を確認してください。